

2015年度
(平成27年度)

事業計画書

目次

事業計画構想	1
主要事業日程	2
日本ユネスコ協会連盟 2015年度予算の特徴	4
事業計画内容	6
1. 国内における平和構築活動	6
2. 海外における平和構築活動	12
3. 財務体質の強化	14

2015年度 事業方針

今年は戦後 70 周年であると同時に、ユネスコ創設 70 周年です。この節目の年は、ユネスコ憲章の原点に立ち戻って世界の平和について考え、「心の中に平和のとりで」を築くユネスコ活動について考える格好の機会です。

昨年 11 月、「国連 ESD の 10 年（2005 - 2014 年）」の最終年会合「ESD に関するユネスコ世界会議」は成果文書と共に閉幕しました。その中で、2015 年以降の取り組み方針であるグローバル・アクション・プログラム（GAP）の枠組が示され、今後 5 年間、5 つの優先行動分野で各国、学校・教育機関、青年・市民社会組織が積極的に ESD に取り組むことが奨励されました。

私たちも 2008 年以来、日本ユネスコ国内委員会に協力して、ユネスコスクールの拡大を通して ESD の普及に貢献してきました。同時に、ユネスコ協会とユネスコスクールとの連携強化を図ってまいりました。今後、GAP の一環として青年のボランティア活動への参加を促し、社会奉仕の学習機会を提供する「ESD パスポート」事業を、GAP の一環として広くユネスコスクールや世界に普及していきます。

ユネスコ活動の使命を考えると、識字、文化的多様性、環境保全、生物多様性、防災・減災、地域活性化など、ESD がテーマとする課題が山積しています。私たちの責任は、こうした現代社会の困難を乗り越え、イノベーションによって希望の未来を切り拓いていこうとする意欲ある若い世代を育てることです。日ユ協連は、ESD パスポートとともに、「青少年ユネスコ活動助成」、「寺子屋/世界遺産スタディツアー」、「青年ユネスコ研修補助制度」など、青少年が社会課題を主体的・体験的に学び、社会変革の主体として成長していく機会を数多く提供していく方針です。

ユネスコ活動は青少年事業はもとより、平和、人権、国際理解、環境保全など多彩です。日ユ協連は引き続き、カンボジア、アフガニスタン、ネパールでの世界寺子屋運動、東日本大震災の被災家庭の子どもたちを支援する奨学金事業、カンボジアの世界遺産修復支援事業、国内での未来遺産運動などを積極的に展開して参ります。またそのために必要な資金調達にも、書きそんじハガキキャンペーンを始めとする多様な方法で取り組みます。平和という一つの目的に向かって今年も力を合わせて夢と希望のあるユネスコ活動を展開してまいりましょう。

2017 年には民間ユネスコ運動発祥 70 周年を迎えます。今年の和歌山での全国大会を機に、2016 年は沖縄、2017 年は仙台で全国大会を開催する予定です。地域を連帯と信頼の絆で結ぶユネスコ協会の活動を基本に、平和の心と具体的な活動を全国、そして世界へと発信して参りましょう。

2015年度 主要事業日程

2015年

- 5月23日(土) 第501回理事会、第36回評議員会、理事・評議員情報交換会
5月24日(日) 青年情報交換会
6月6-7日(土-日) 第71回日本ユネスコ運動全国大会 in 和歌山
6月20日(土) 第502回理事会、第503回理事会、第66回定時総会
6月21日(日) 青年情報交換会
6月27-28日(土-日) 「守ろう地球のたからもの」植樹活動(青森県)
7月~8月 「平和の鐘を鳴らそう!」キャンペーン
7月19日(日) 「民間ユネスコ運動の日」
7月21日-25日(火-土) WFUCA 世界大会(中国・北京)
7月25日-26日(土-日) 東北ブロック・ユネスコ活動研究会(秋田県秋田市)
8月2日-5日(日-水) 「第47回ユネスコ子どもキャンプ in 千葉」(千葉県鴨川市)
8月12日-21日(水-金) 高校生カンボジアスタディーツアー
8月 寺子屋リーフレット制作プロジェクト教員スタディーツアー
8月 東日本大震災を心と記憶にとどめる交流体験
9月12日(土) 第504回理事会
9月12-13(土-日) 中部東ブロック・ユネスコ活動研究会(静岡県静岡市)
10月17-18(土-日) 北海道ブロック・ユネスコ活動研究会(北海道室蘭市)
10月24日(土) 近畿ブロック・ユネスコ活動研究会(京都府福知山市)
関東ブロック・ユネスコ活動研究会(栃木県佐野市)
10月31日-11月1日(土-日) 中部西ブロック・ユネスコ活動研究会(岐阜県)
11月7日(土) 第505回理事会、第37回評議員会、理事・評議員情報交換会
11月8日(日) 青年情報交換会
11月14-15日(土-日) 九州ブロック・ユネスコ活動研究会(大分県大分市)
四国ブロック・ユネスコ活動研究会(香川県丸亀市)
11月21-22日(土-日) 中国ブロック・ユネスコ活動研究会(鳥取県米子市)
11月 韓国ユネスコ運動全国大会
12月初旬 「みどりの絵コンクール」授賞式
12月中旬 未来遺産委員会<第7回プロジェクト未来遺産選定>(東京都)
- 2016年
- 1月16日(土) 第506回理事会、第38回評議員会、理事・評議員情報交換会、
新年懇親会

1月17日(日)	青年情報交換会
1月～3月	第7回プロジェクト未来遺産登録賞授与式(全国各地)
2月中旬	ユネスコスクールESDアシストプロジェクト審査会
3月12日(土)	第507回理事会
3月下旬	第5回ユネスコスクールESD国際交流プログラム(独・仏)

2015年度 事業計画内容

1. 国内における平和構築活動

(1) 普及実践活動

持続可能な社会づくりを目指すユネスコ活動を全国に普及するために、以下の実践活動を行う。

① 第71回日本ユネスコ運動全国大会in 和歌山

1年に1回、全国の会員が集い、日ごろのユネスコ活動の情報交換を行うとともに、大会テーマについて研鑽を行う。

テーマ 持続可能な平和のために～“会話”を広げるユネスコ～

日程 2015年6月6～7日(土・日)

会場 和歌山市民会館大ホール (和歌山県和歌山市)

主催 日本ユネスコ協会連盟、和歌山県ユネスコ連絡協議会、
和歌山ユネスコ協会

後援 外務省、文部科学省、日本ユネスコ国内委員会、国際連合広報センター他

協力 株式会社ジェイアール東日本企画、
富士オフィス&ライフサービス株式会社

② ブロック別ユネスコ活動研究会

ユネスコ活動の質の向上を目指し、会員の研修の場として、全国9ブロック9か所で開催する。本年度も引き続き、テーマを「ESD」「ユネスコスクール」関連とする。多様なユネスコ活動に対応して分科会を設置するとともに、ユネスコ協会の実務担当者を対象とした研修会を実施する。

テーマ 「ESD」「ユネスコスクール」

期間 2015年7月～2015年11月

場所 全国9ブロック9か所

主催 日本ユネスコ協会連盟、都道府県ユネスコ連絡協議会、主管ユネスコ協会

③ 民間ユネスコ運動の日、「平和の鐘を鳴らそう！」キャンペーン

世界初の民間ユネスコ運動が仙台で始まった1947年7月19日を記念して行う普及活動。7月19日の「民間ユネスコ運動の日」前後から9月にかけて、平和の大切さを地域社会の中で啓発する活動を行う。

(2) 青少年活動

被災地への教育復興支援、並びに青少年にユネスコ精神を伝える以下の活動を行う。

① 教育復興支援（子ども募金 東日本大震災子ども支援募金）

東日本大震災の被災地を対象に5つの教育支援活動を行う。

A) ユネスコ協会就学支援奨学金

東日本大震災により経済状況が著しく悪化した家庭の子どもを対象に、一人当たり2万円/月の就学支援奨学金を3年間給付する。

B) MUFJ-ユネスコ協会東日本大震災復興育英基金

三菱UFJフィナンシャル・グループと共催で、東日本大震災で遺児孤児となった子どもたちへの「奨学金プログラム」等を行う。

C) 力士会とともに被災地の相撲場建設

力士会（会長・横綱白鵬関）の協力を得て岩手県山田町、宮城県気仙沼市に続き、福島県で相撲場を建設する。

D) アクサ ユネスコ協会減災教育プログラム

アクサ生命保険株式会社の協力を得て、被災地の学校の学びを全国の減災（防災）教育に活かすことを目的とし、減災教育に取り組む学校を対象にした活動助成、東北での教員研修会等を行う。

E) マッチング募金

企業、団体の協力を得て、現地ニーズにそった支援活動を行う。

② 青少年活動支援

A) 「ユネスコ協会ESDパスポート」事業

子どもたちのボランティア活動への参加を促し、社会奉仕の学習機会を提供する。「ユネスコ協会ESDパスポート」事業では、ユネスコ協会が、子どもたちのボランティア活動への参加回数に応じて活動認定書を発行し、ボランティア体験発表会等で顕彰する。ユネスコスクールとユネスコ協会の連携強化事業の一環。2013年度12協会、2014年度25協会の実績を踏まえ、2015年度は35協会での実施をめざし、予算も増額する。

B) 青少年ユネスコ活動助成

ユネスコ協会から優れた地域活動を公募し、各分野で助成額を増額して実施する。

助成対象

分野 1 青少年へのユネスコ普及活動事業（「わたしの町のからもの絵画展」事業、出前事業など）

- 分野 2 ユ協所属の青年会員が中心となつて行う社会的課題の解決に貢献する事業
- 分野 3 学校（ユネスコスクール）とユネスコ協会の連携強化を図る事業（例：ユネスコスクール研修会、ESD パスポート発表会等）
- その他 ・全国的青年連絡組織が実施する活動への助成
・UNESCO 等の実施する国際会議等や、国内外で外部団体が行う研修会への青年派遣参加旅費等の一部補助

C) 第 47 回ユネスコ全国子どもキャンプ（青年研修事業）

本年から日ユ協連の主催事業とし、「青年リーダーの養成」と「地域ユネスコ協会が青少年の活動の受皿となるきっかけづくり」と事業がなるように再構築する。事前研修、準備、キャンプ運営実施、振り返り等を全体的に計画し、キャンプ終了後には開催地での青年活動を牽引するリーダーとして定着することを目指す。

日程 2015年8月2日（日）～5日（水）（3泊4日）研修は2015年3月より継続的に実施

場所 千葉県鴨川市

主催 日本ユネスコ協会連盟、千葉県ユネスコ協会連絡協議会

後援 文部科学省、日本ユネスコ国内委員会、千葉県教育委員会他

D) 青年事業情報交換会

青年ユネスコ活動の課題整理、行動計画、事業評価を目的に、青年評議員が中心となり情報交換会を行う。

E) 寺子屋リーフレット制作プロジェクト

小・中・高等学校を対象に世界寺子屋運動を題材としたプロジェクト型学習の普及を図る。児童・生徒が非識字という世界的課題を学び、書きそんじハガキ回収による募金協力を呼びかけるリーフレットを制作する。プロジェクトを通じて公正な社会の実現と教育の大切さを学ぶ機会を提供する。

F) 東日本大震災を心と記憶にとどめる交流体験

日本の将来と明日のユネスコ活動を担う高校生・大学生が被災地の青年と交流し、被災地への理解を深め、今後の復興問題に取り組むことを目的とする交流体験を継続実施する。2014年度の単年度事業であったが、2016年度までの3か年事業とする。

③ 「守ろう地球のたからもの」(通年)

三菱UFJフィナンシャル・グループと協力し、次の環境活動を行う。

- A) 世界遺産「白神山地」周辺地域への植樹ボランティアによる環境保護活動
- B) みどりの絵コンクールによる環境意識の啓発

④ ユネスコスクール支援

三菱東京UFJ銀行と協力し、ユネスコスクールのESD活動への支援を行う。

- A) ESD教材「豊かな自然編」「豊かな世界遺産編」の学校への寄贈等

⑤ 第12回「三菱アジア子ども絵日記フェスタ」の共催

1990年の国際識字年記念事業。三菱広報委員会と協力し、国際理解の促進を目的に、アジア24の国・地域の子どもたちから絵日記作品を募集し、顕彰する。

⑥ MSDサイエンススクール

MSD株式会社と協力し、ユネスコスクールを中心に命と健康の大切さを学ぶ出前事業を全国10校前後で実施。

⑦ スタディツアー

かめのり財団と協力し、高校生を対象に世界寺子屋運動のカンボジア支援地へのスタディーツアーを実施する。

新規の事業として、ユネスコ協会の実施する青年のスタディーツアーへの助成、寺子屋プロジェクト実施校教員へのスタディーツアーへの助成を実施する。

(3) 組織の拡充

新規ユネスコ協会、各地ユネスコ協会の活動を強化するとともに、組織の拡充を図るため情報共有を強化する。また、2017年度からユネスコ協会から直接日ユ協連のデータベースにアクセスできる体制を整備するため、環境を整備する。さらに、2017年の民間ユネスコ運動70周年記念に仙台で全国大会が開催されるのを目標に、民間ユネスコ運動発祥の地仙台に、世界に民間ユネスコ運動を発信する仙台ユネスコ会館の建設を目指す。同時に穿設のための募金活動を行う。

- ① 新規ユネスコ協会の設立
- ② 地域ユネスコ協会の活動振興
- ③ 理事・評議員情報交換会によるブロック内の情報共有を強化
- ④ 仙台ユネスコ会館の建設

(4) 世界遺産・地域遺産活動

100年後の子どもたちに地域や世界の文化・自然遺産を継承するために、地域で活躍する団体を顕彰し、応援する。

① 未来遺産運動（通年）

地域の文化・自然の継承、保護のために活動する市民団体のプロジェクトを募集し、専門家からなる未来遺産委員会で「プロジェクト未来遺産」を決定し、登録する。また、登録団体への企業（ダンロップ株式会社、ANA株式会社等）と協働して「プロジェクト未来遺産」登録地での活動を展開するなどして、運動を拡大していく。

特別協力 東日本旅客鉄道株式会社、レクサス、住友ゴム工業株式会社

後援 読売新聞社 他

連携事業 一般社団法人みらいみんなよう、一般社団法人フォレストック協会、
日本再発見塾

② 世界遺産年報の発行

日本宝くじ協会の助成を受け、『世界遺産年報2016』の制作・発行を行う。

日本政府より推薦された『明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域』の動きや新たに登録される世界遺産などを、専門家の監修を得て制作する。

(5) 海外との連携

UNESCOや海外のユネスコクラブとの連携を深めるため、ユネスコ関連の国際会議への派遣を強化し、以下の活動を行う。

- ① アジア太平洋ユネスコ協会クラブ連盟 (AFUCA) の活動振興 (通年)
AFUCAの執行委員会の開催、及び域内ユネスコ協会・クラブ活動の振興に貢献する。特に、韓国の全国大会に役員を派遣する。
- ② 第9回世界ユネスコ協会クラブ連盟 (WFUCA) 世界大会への参加 (7月)
役員及び青年を派遣する。また、世界大会の後、日中韓の青年交流を実施する。
- ③ UNESCOとの協力協定事業
UNESCOと締結したパートナーシップ協定に基づき、UNESCO公式サポーターとの連携・UNESCOとの調整を行う。また、新規のUNESCO公式サポーター獲得に努める。

(6) 普及広報活動

持続可能な社会づくりの大切さを社会に伝え、社会課題の解決につながる民間ユネスコ運動を進める。情報共有を進めるために多様なメディアを活用して、以下の情報発信を行う。

- ① 機関誌「ユネスコ」の発行。季刊/年4回発行
- ② 日本ユネスコ協会連盟概要ブックレットの制作・配布
日本ユネスコ協会連盟概要ブックレットを制作する。また、中国で開催される第9回WFUCA世界大会に合わせ、英語版のブックレットを制作する。
- ③ ホームページの更新・管理・運営
ユネスコ活動に関する「活動ニュース」、「スタッフブログ」、「会員ページ」、「トピックス」など最新情報を充実し、適宜更新していく。
- ④ メールマガジン、プレスリリース等による情報発信
機関誌・ホームページ等に掲載した情報をメールマガジンで配信する。また、マスコミに対してリリースを配信する。
- ⑤ 広報特使等との協働
東儀秀樹 (日本ユネスコ協会連盟スペシャルアドバイザー)、久保純子広報特使 (まなびゲーター)、わさお (世界遺産活動特別大使犬)、またUNESCOから任命されている千玄室 (UNESCO親善大使)、二村英仁 (UNESCOアーティストフォオピース)、横綱白鵬関 (UNESCOスポーツチャンピオン) 等各氏のご協力を得て、ユネスコ運動への支援を仰ぐ。
- ⑥ 広報媒体の制作と活用
- ⑦ ユネスコ協会連盟との共催・後援事業の申入れ承認
他団体 (省庁・役所・学校含む) や企業からの共催・後援申請への承諾を行う。

2. 海外における平和構築活動

(1) 世界寺子屋支援活動（通年）

“すべての人に教育を（EFA）”の目標達成を目指す。基本的人権としての教育を保証するため、開発途上国で教育機会のない人びとに対して、ポスト2015を見据えながら、世界寺子屋運動を行う。また、世界寺子屋運動広報特使「まなびゲーター」久保純子さんや企業の協力を得て、国内の書きそんじハガキ回収や募金者拡大のための広報活動を積極的に行う。

また、世界寺子屋運動部会からの提案を受けて新たな展開を検討し、実施可能なものから順次新機軸を打ち出していく。

① アジア3カ国での事業実施

A) カンボジア（アンコール寺子屋プロジェクト）

シエムリアップ州教育局と連携し、州内の村で子ども、成人を対象とした識字教育、技術訓練及び収入向上プログラムを実施する。

B) アフガニスタン（アフガニスタン寺子屋プロジェクト）

アフガニスタン教育省識字局と連携し、カブール県、パルワン県、バーミヤン県において、識字教育・技術訓練、収入向上事業を実施する。

C) ネパール（ルンビニ寺子屋プロジェクト）

世界遺産「ルンビニ」周辺の12村とカトマンズ近郊の4村で識字教育・技術訓練、収入向上事業を実施する。

② 世界寺子屋運動促進活動

A) NHK日本賞

世界の教育番組の向上を図ること目的とした教育コンテンツの国際コンクール「日本賞」（主催：NHK）の企画部門で「識字・自国の言語教育を促し、基礎教育の普及に貢献する優れた番組企画」に対し、特別賞「日本ユネスコ協会連盟賞」を授与する。

B) 世界寺子屋運動促進活動

2019年に30周年を迎える世界寺子屋運動の新たな展開に向けての企画、調査を進めると共に、運動への協力者を増強するための広報活動を実施する。

(2) 「一杯のスプーン」支援活動（通年）

世界寺子屋運動の支援地域で、貧しい人々への無償医療活動を支援する。

① アジア3ヵ国での事業実施

A) ネパール

世界遺産ルンビニ地域での巡回医療支援と栄養補助食品の配布。

B) アフガニスタン

カブール市内で無償の医療活動への支援を行う。

C) カンボジア 「天空の柱プロジェクト」

株式会社富山環境整備と協力し、シエムリアップ市内の4つの公立病院、15の寺子屋に安全な日本のペットボトル水を提供するとともに、浄水設備とソーラーパネルを設置して持続可能な安全な水の供給体制を整備する。また、衛生教育実施のための教材を製作する。

② 一杯のスプーン促進活動

医療支援や子どもへの栄養補助食品などに関連する企業・団体へのアプローチ・広報活動を実施する。

(3) 世界遺産・地域遺産活動（通年）

世界遺産、地域遺産を通して国際理解を深め、自然や文化の多様性を広く一般に伝えるために以下の活動を行う。

① カンボジア等での事業実施

カンボジアの世界遺産「アンコール」にあるバイヨン寺院「シンハ像・ナーガ像」修復プロジェクト、先祖から引き継がれてきた「世界のたからもの」を継承するための活動を実施する。

② 世界遺産・地域遺産促進活動

世界遺産活動の新たな展開に向けての企画、調査を進めると共に、活動への協力者を増強するための広報活動を実施する。

③ ミャンマー・バガン遺跡の世界遺産登録事業への協力

UNESCO・ミャンマー政府が行う、バガン遺跡の世界遺産への登録に向けたプロジェクトへの協力。

3. 財務体質の強化

ユネスコ活動の発展の基盤となる財務体質の強化を図る。多様な手段（募金、寄附金、事業収入）を導入して事業資金を調達する。

(1) 募金促進

① 「月1いいことプログラム」(毎月引落募金) 拡大キャンペーン

毎月の継続的な募金への協力者の増加を図る。また、ダイレクトマーケティングにより、ファン層の拡大を図る。

② 書きそんじハガキ回収キャンペーン (通年)

世界寺子屋運動の事業資金となる同キャンペーンを行う。2015年12月～2016年3月を特別強化月間とし、各地のユネスコ協会と協力して実施するとともに、ユネスコスクールへの働きかけを強化する。

③ 募金者への報告と継続依頼の制作・発送

募金者に事業の成果を報告し、支援者からのメッセージを伝える。また、今後遺贈による寄附の呼びかけを強化するため、パンフレットを制作する。

④ 「活動報告レポート」の制作・発送

募金により実施した事業の成果を募金者に報告するために「2014年度活動報告レポート」を制作・配布する。

(2) 企業寄附企画の実施

企業と日ユ協連の協働が双方にとって意義あるような寄附の仕組みを企画立案する。